

まちかどフォトニュース

おもしろいこと、珍しいもの、どんなことでもいいので耳よりな情報をお知らせください。
三好市 秘書広報課 ☎ 72-7646



石積みの技術を学びながら景観保存へ

石積みの技術を継承しながら景観を維持しようと、徳島大学大学院の真田純子助教（景観工学）が主催する「石積み学校」が3月15～16日の2日間、池田町西山で行われました。市内外から約30人が参加し、修繕作業を通してバランスの取れた石の積み方を学びました。

真田さんや石積み職人の方から指導を受け、崩れた石積みから土砂と石を掘り出した後、バランスよくかみ合うような石を選び、参加者と一緒に積み直しました。

元オリンピック代表選手招き 卓球教室

三好郡・市内の中学校卓球部員らを対象に、競技力向上と指導方法の充実を図るため、元オリンピック日本代表の仲村錦治郎選手を招いた卓球教室が、3月9日に池田総合体育館で行われました。

参加した中学生らは、足の運びやラケットの持ち方などトップレベルの実技指導に目を輝かせていました。また、効果的な練習方法などの紹介もあり、指導者も熱心に耳を傾けていました。最後に参加者全員が講師のサーブを受け、中学生らは世界的に活躍された選手のサーブを返球しようと頑張っていました。



「鵬雛図南」が最優秀を受賞

今年で4回目を迎える富士正晴全国高等学校文芸誌賞の授賞式が、3月8日にサンリバー大歩危で行われ、受賞者に賞状などが贈られました。同賞は三好市出身の小説家富士正晴氏の功績をたたえとともに、高校生の文芸創作活動への関心を高めようと創設されたものです。今回は兵庫県立神戸高等学校の生徒が制作した「鵬雛図南」が最優秀賞を初受賞。優秀賞には、花巻北高校「花北文学」、盛岡第四高校「志高文芸」、函館高校「海碧」、筑紫女学園高校「いさらる」が選ばれました。

男女共同参画推進を目指して



三好市では、男女共同参画の実現を目指し、平成21年3月に「三好市男女共同参画基本計画」を策定しました。その策定期間が終了することから、これまで取り組んできた成果と課題を検証するとともに、少子高齢化など社会環境の変化を踏まえ、新たに「三好市男女共同参画基本計画(第2次)」を策定し、3月26日市長に提出されました。男性にとっても女性にとっても生きやすい社会を創り、市民が健やかに暮らし活気に満ちた三好市を実現するため本計画を推進していきます。

プロ写真家の指導に感激



3月23日の千年のかくれんぼフォトコンテストの表彰式にあわせて、コンテストの審査員を務めた徳島市出身の写真家、三好和義さんとめぐる写真撮影会が行われました。当日は晴天に恵まれ、国の天然記念物に指定された大歩危峡で行われた撮影会では、コンテスト向けの写真の撮り方のコツなど三好さんが丁寧に優しく指導しました。参加者は熱心に聞き入り、普段聞くことのできないプロの指導に大変喜んでいました。

持続可能な地域おこしに向けて

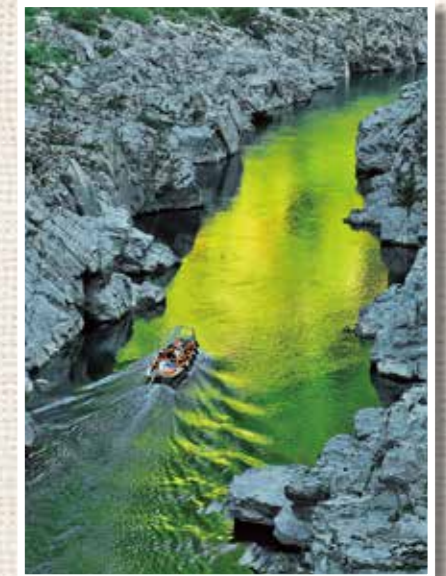


三好市地域おこし協力隊の活動報告と計画発表会が3月20日、三好市役所で開かれました。はじめに地域力創造アドバイザーの千田良仁さんから「地域おこし協力隊の現状と課題」と題し、全国の先進事例などが紹介された後、3年間の任期を終える一期生3人からは三好市に移住してからこれまでの活動報告や今後の目標などが、2期生4人からは1年目の活動をふまえた今後の具体的な活動計画が発表されました。

817点の頂点は「水面染まる峡谷を」

平成25年度に募集していた千年のかくれんぼフォトコンテストの表彰式が、3月23日にホテル大歩危峡まんなかで行われました。市内外から817点の応募があり、最優秀賞に楠本靖さん（藍住町）の「水面染まる峡谷を」が選ばれたほか、23点の写真が入賞しました。

入賞写真は観光パンフレットなどに活用されるほか、4月29日まで道の駅大歩危に、4月30日から5月30日まで吉野川ハイウェイオアシスに展示される予定です。



西山そらの学校



旧西山小学校が「西山そらの学校」として新たな船出

廃校となっていた西山小学校で3月30日、全国で子育て支援や介護事業などを展開しているNPO法人ワーカーズコープが「西山そらの学校」をオープンし、開所式が開催されました。西山そらの学校では、デイサービス「西山笑楽校」や地元住民が講師となり各種講座を行い互いに学び合う「いきいき倶楽部」、子どもたちの里山体験教室の3つ事業を柱に、地域活性化の拠点として事業を展開していきます。また、西山小学校のほか5つの小学校（有瀬・河内・太刀野山・西宇・馬場）が地域の特性を活かした活動拠点施設として新たな一歩を踏み出しています。